

日本雑草学会 第 61 回大会 プログラム

1. 会期

2022 年 3 月 29 日（火）一般講演，学会賞受賞者講演

3 月 30 日（水）一般講演，農薬工業会セミナー，ミニシンポジウム

2. 会場

オンライン開催

3. 日程

3 月 29 日（火）

一般講演，学会賞受賞者講演

学会賞受賞者講演

業績賞

受賞者：高江洲 賢文（一般財団法人 沖縄美ら島財団）

業績名：沖縄県の畑地雑草の防除体系確立における雑草群落組成・動態の研究

受賞者講演座長：浅井 元朗

技術賞

受賞者：須藤 健一（公益財団法人 日本植物調節剤研究協会 兵庫試験地）

業績名：兵庫県における水田雑草の発生実態とその長期変遷の解明

受賞者講演座長：浅井 元朗

3 月 30 日（水）

一般講演，農薬工業会セミナー，ミニシンポジウム

第 61 回大会プログラム (概要版)

3月29日 (火)	時間	A 会場	B 会場
	9:00	開場	
	9:30 ~ 12:10	一般講演 防除・管理 10 題	一般講演 除草剤 10 題
	12:10 ~ 13:15	昼休み	
	13:15 ~ 15:55	一般講演 防除・管理 10 題	一般講演 生理・生態 10 題
	15:55 ~ 16:15	休憩	
	16:15 ~ 17:00	学会賞受賞者講演	閉場

3月30日 (水)	時間	A 会場	B 会場
	9:00	開場	
	9:30 ~ 12:10	一般講演 生理・生態 10 題	一般講演 生理・アレロパシー 9 題
	12:10 ~ 13:30	昼休み	
	13:30 ~ 14:30	ミニセミナー	閉場
14:40 ~ 16:10	ミニシンポジウム		

講演プログラム（1日目）

※発表者に○を付しています。

※講演番号の下に*が付された発表は、ベスト講演賞の選考対象（若手による発表）です。

3月29日（火）						
開場						
A 会場		座長	B 会場		座長	
9:30	1 *	夏季の畦畔植生を維持しながらナガエツルノゲイトウを 防除する管理体系の検討 ○井原 希 ¹ , 嶺田 拓也 ² , 吉村 泰幸 ³ , 芝池 博幸 ³ , 小荒 井 晃 ¹ （ ¹ 農研機構・植物防疫研究部門, ² 農研機構・農 村工学研究部門, ³ 農研機構・農業環境研究部門）	大段秀記 （農研機構・九州沖縄農業研究センター）	31 *	タイヌビエにおいて多剤抵抗性発現をもたらすゲノム領 域の探索 ○杉浦 快, 福西 詩奏, 富永 達, 岩上 哲史（京都大学）	神義伸 （住友化学）
9:45	2	ナガエツルノゲイトウの低密度化に向けた水稲収穫後の 除草剤管理の検討 ○嶺田 拓也 ¹ , 芝池 博幸 ² , 井原 希 ³ , 吉村 泰幸 ² , 小荒 井 晃 ³ （ ¹ 農研機構・農村工学研究部門, ² 農研機構・農 業環境研究部門, ³ 農研機構・植物防疫研究部門）		32	広義イヌビエにおけるシハロホップブチル抵抗性機構の 解析 ○岩上 哲史 ¹ , 関口 麻人 ¹ , 石坂 真澄 ² , 秋本 千春 ³ , 内 野 彰 ⁴ （ ¹ 京都大農, ² 農研機構・高度分析研究センター, ³ 農研機構・生物機能利用研究部門, ⁴ 農研機構・中日本 農業研究センター）	
10:00	3	特定外来生物ナルトサワギクに対する数種薬剤による除 草効果 ○須藤 健一 ¹ , 須藤 美代子 ¹ , 前原 恭兵 ² , 影山 真 ² , 堤 渉人 ² （ ¹ 植調協会 兵庫試験地, ² アグロカネショウ（株））		33	遺伝子発現がコナギにおける除草剤抵抗性並行進化のバ ターンを形作る 谷垣 伸治 ¹ , 内野 彰 ² , 大川 茂範 ³ , 三浦 恒子 ⁴ , 濱村 謙史朗 ⁵ , 松尾 光弘 ⁶ , 好野 奈美子 ⁷ , 上野 直也 ⁸ , 外山 祐介 ⁹ , 福見 尚哉 ¹⁰ , 来島 永治 ¹¹ , 増田 太郎 ¹² , 下野 嘉 子 ¹ , 富永 達 ¹ , ○岩上 哲史 ¹ （ ¹ 京都大農, ² 農研機構・ 中日本農業研究センター, ³ 宮城古川農試, ⁴ 秋田農試, ⁵ 植調研究所, ⁶ 宮崎大農, ⁷ 農研機構・植物防疫研究部門, ⁸ 山梨総合農業技術センター, ⁹ 静岡農林技術研究所, ¹⁰ 鳥取農試, ¹¹ 山口長門農林水産事務所, ¹² 摂南大農）	
10:20	4 *	UAV 空撮画像を用いたアレチウリ群落の検出と薬剤防 除効果の比較 ○松崎 永志, 渡邊 修（信州大・農）	水口 亜樹 （福井県立大学）	34 *	ナプロアニリドや加水分解代謝物による根部生育抑制作 用におけるオーキシン活性の関与 ○亀山 郁, 春原 由香里（筑波大）	岩上 哲史 （京都大学）
10:35	5	緑地におけるアレチウリの実用的防除体系の検討 ○林 俊行, 濱村 謙史朗, 筒井 芳郎（（公財）日本植物 調節剤研究協会）		35 *	タンパク質とリガンド間の物理的相互作用に着目したオ キサジクロメホンの標的タンパク質探索の試み ○今矢 智彬 ¹ , 山口 拓也 ² , 春原 由香里 ¹ （ ¹ 筑波大, ² 富 山県立大）	
10:50	6	草高/条間比を指標としたダイズ畑におけるカロライナ ツクサの要防除時期の推定 ○松尾 光弘 ¹ , 栗久 周史 ¹ , 河野 礼紀 ^{2,3} （ ¹ 宮崎大学農 フィールド, ² 大分県農林水産研究指導セ, ³ 大分県農林 水産部）		36 *	新規飼料用とうもろこし用除草剤トルピラレート・ニコ スルフロクシ水和剤に関する研究（第1報）—基本性能— ○福田 将太, 佐竹 良和, 小林 庸輔, 菅沼 丈人, 佐野 真喜子（石原産業株式会社）	
11:10	7	UAV 空撮画像と深層学習を用いた大豆圃場における帰 化アサガオ類の検出 ○渡邊 修 ¹ , 大段 秀記 ² （ ¹ 信州大・農, ² 農研機構・九 沖農研）	浅見 秀則 （農研機構・西日本農業研究センター）	37 *	愛知県の水稲乾田直播栽培におけるシハロホップブチル 抵抗性ノビエに有効な除草剤 ○柏木 啓佑, 尾賀 俊哉, 伊藤 晃（愛知県農業総合試験場）	濱村 謙史朗 （（公財）日本植物調節剤研究協会）
11:25	8 *	UAV 空撮画像と深層学習を用いたデントコーン圃場 におけるオオバタクサの検出 ○坪田 醒悟, 渡邊 修（信州大・農）		38 *	新規水稲除草剤トリアファモン・テフリルトリオン・フ ロルピラウキシフェンベンジル混合剤の除草特性 ○鹿島 健太, 伊藤 雅仁, 杉浦 健司（バイエルクロッ プサイエンス（株））	
11:40	9 *	静岡県内の茶園周縁部における春期の雑草植生 ○市原 実 ¹ , 鈴木 幹彦 ² , 芳賀 一 ² （ ¹ 静岡農林技研・茶 研セ, ² 静岡県病害虫防除所）		39	水位センサー・自動給水ゲートを用いた水稲用除草剤の 効果安定化 ○大川 茂範, 小田中 大輔（宮城古川農試）	
11:55	10	京都府北部地域の河川敷茶園における茶樹冠上に出現す る雑草の発生消長 ○大橋 善之, 増金 光希（京都府中丹東農業改良普及セ ンター）		40	ピラクロニル含有自己拡散型浮遊剤散布後の水田各地 点における田面水の有効成分濃度と除草活性の関係 ○徐 錫元, 松本 雅好, 柳澤 計雅, 近久 史明, 今里 駿, 木村 祐介, 内田 孝行, 石森 覚（協友アグリ（株））	
昼休み 12:10 ~ 13:15						

A 会場		座長	B 会場		座長	
13:15	11	福島県南相馬市の秋播きタマネギ栽培におけるネズミムギとイヌムギの侵入と蔓延 ○木幡 裕介 ¹ , 小椋 智文 ² , 浅井 元朗 ¹ (¹ 農研機構・東北農業研究センター, ² 福島県農業総合センター・浜地域農業再生研究センター)	下野 嘉子 (京都大学)	41	コナギ線形葉の水中共合成速度の測定 ○吉岡 俊人 ¹ , 田副 雄士 ¹ , 田副 久仁子 ¹ , 中村 哲也 ² (¹ 新潟食料農業大・食料産業学, ² 有機米デザイン株式会社)	安達 康弘 (島根県農業技術センター)
13:30	12*	刈取り時期と刈取り高の違いがイタドリの生育に及ぼす影響 ○横山 裕一, 稲垣 栄洋 (静岡大学)		42	水田抑草ロボット「アイガモロボ (仮称)」が発生する濁りは田面水深層の光強度をコナギ光補償点以下に保つ ○吉岡 俊人 ¹ , 安達 柊人 ¹ , 田副 雄士 ¹ , 田副 久仁子 ¹ , 伊藤 豊彰 ¹ , 藤井 義晴 ² , 大川 泰一郎 ² , 塩路 義行 ³ , 中村 哲也 ³ (¹ 新潟食料農業大・食料産業学, ² 東京農工大・院農学, ³ 有機米デザイン株式会社)	
13:45	13*	ダイズ栽培における秋播き性オオムギを用いたリピングマルチによるアサガオ類の防除効果 ○小木曾 優紀, 星 風吹, 小林 浩幸 (宇都宮大・雑草管理教育研究センター)		43	アイガモロボ (仮称) を用いた有機米栽培圃場の雑草発生量と水稲収量の 2021 年度調査 ○中村 哲也 ¹ , 大峽 広智 ² , 大川 泰一郎 ³ , 磐佐 まりな ³ , 藤井 義晴 ³ (¹ 有機米デザイン株式会社, ² 新潟県農業総合研究所, ³ 東京農工大学大学院農学府)	
14:05	14*	大豆栽培圃場におけるマルバアメリカアサガオとマルバルコウソウの葉齢進展とその要因 ○星 風吹, 小木曾 優紀, 小林 浩幸 (宇都宮大・雑草管理教育研究センター)	三浦 恒子 (秋田県農試)	44	関東地方におけるサヤヌカグサ (<i>Leersia sayanuka</i>) の水田雑草としての特徴 ○森田 弘彦 ¹ , 青木 政晴 ² , 稲垣 貴之 ³ , 濱村 謙史朗 ³ , 渡邊 寛明 ³ , 保田 謙太郎 ⁴ (¹ 元 (公財) 日本植物調節剤研究協会, ² 長野県農政部, ³ (公財) 日本植物調節剤研究協会 研究所, ⁴ 秋田県立大学)	三浦 励一 (龍谷大学)
14:20	15*	ダイズの播種時期およびイマザモックスアンモニウム塩液剤の処理時期の違いがマルバアメリカアサガオの残草量に及ぼす影響 ○浅見 秀則 ^{1,2} (¹ 農研機構・西日本農業研究センター, ² 農研機構・植物防疫研究部門)		45*	さく葉標本に基づくミソハギ科ナンゴクヒメミソハギの関東における分布情報の整理 ○早川 宗志 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)	
14:35	16	塩素酸塩粒剤の冬期土壌混和処理がスギナの防除効果に及ぼす影響 ○浅井 元朗, 木幡 裕介 (農研機構・東北農研センター)		46*	スズメノカタビラにおける発芽特性の種内変異と集団遺伝構造—水田および路傍集団の比較— ○真柄 享永, 下野 嘉子 (京大・農)	
14:55	17	土壌処理剤の混用処理による暖地での水稲乾田直播栽培の乾田期間の効果的雑草防除 ○大段 秀記 (農研機構・九州沖縄農業研究センター)	吉岡 俊人 (新潟食料農業大)	47	雑草イネの起源と集団構造 3 : 全ゲノム解析で明らかにした日本産雑草イネの進化過程 ○今泉 智通 ¹ , 江花 薫子 ¹ , 川原 善浩 ¹ , 武藤 千秋 ¹ , 小林 浩幸 ¹ , 小荒井 晃 ¹ , Olsen Kenneth ² (¹ 農研機構, ² Washington University in St. Louis)	市原 実 (静岡茶研セ)
15:10	18*	野生イネ遺伝子の活用によって作出された新規草型イネの雑草抑制力 ○浅見 秀則 ^{1,2} , 稲垣 言要 ³ , 石丸 健 ⁴ (¹ 農研機構・西日本農業研究センター, ² 農研機構・植物防疫研究部門, ³ 農研機構・高度分析研究センター, ⁴ 農研機構・作物研究部門)		48	コドラート法による乗算優占度 (MDR) を用いた水稲雑草発生量の簡易評価 ○中村 哲也 ² , 大峽 広智 ¹ , 大川 泰一郎 ³ , 藤井 義晴 ³ (¹ 新潟県農業総合研究所, ² 有機米デザイン株式会社, ³ 東京農工大学大学院農学府)	
15:25	19	ノビエ休眠特性を活かす有機水田の統合的雑草管理 2 ○岩石 真嗣 ¹ , 津曲 徹 ² , 徐 啓聡 ¹ , 三木 孝昭 ¹ , 榑原 健太郎 ¹ (¹ 自然農法国際研究開発センター, ² EM 研究所)		49*	水稲出穂前の畦畔植生と斑点米カメムシ棲息数の関係における地域間差 ○野村 卓史, 権田 重雄, 川田 文子, 溝淵 博之, 村岡 哲郎 ((公財) 日本植物調節剤研究協会)	
15:40	20	ノビエ休眠特性を活かす有機水田の統合的雑草管理 3 ○岩石 真嗣 ¹ , 津曲 徹 ² , 徐 啓聡 ¹ , 三木 孝昭 ¹ , 榑原 健太郎 ¹ (¹ 自然農法国際研究開発センター, ² EM 研究所)	50	水田畦畔に対する除草剤および畦塗り処理後に再発生する主な雑草草種 ○大場 伸一 ^{1,2} , 藤井 義晴 ¹ , 本林 隆 ¹ (¹ 東京農工大学, ² 大場技術士事務所)		
休憩 (20 分)						
16:15	学会賞受賞者講演		閉場			
17:00	1 日目終了					

講演プログラム (2日目)

※発表者に○を付しています。

※講演番号の下に*が付された発表は、ベスト講演賞の選考対象(若手による発表)です。

3月30日(水)						
開場						
A会場			座長	B会場	座長	
9:30	21	ヤハズエンドウ埋土種子の休眠覚醒および出芽形態に関する研究 ○露崎 浩 ¹ , 佐藤 大輝 ¹ , 藤根 裕太 ¹ , 小野 未来 ² (1秋田県大・生物資源, 2大潟村在住)	伏見昭秀 (農研機構・西日本農業研究センター)	51	特定外来生物ナガエツルノゲイトウの茎断片化と植物ホルモンの関係解析 ○高橋 秀典, 柄澤 百華, 光岡 咲幸 (東邦大・理)	野村卓史 (公財) 日本植物調節剤研究協会
9:45	22*	インドネシア高地に分布するオヒシバ属雑草の特定とオヒシバとの生態的特性の比較 ○三橋 美乃里, 佐藤 美佳, 宮浦 理恵 (東京農大・国際食料情報)		52*	ユリノキの落葉抽出物に含まれるアレロパシー候補物質の単離及び同定 ○林 恒太 ¹ , 岩崎 有紘 ² , 末永 聖武 ² , 加藤 尚 ¹ (1香川大院農学, 2慶応義塾大・理工)	
10:00	23*	日本で春咲きの外来雑草はヨーロッパ原産、秋咲きの外来雑草は北米原産が多い: 外来雑草群集の原産地域と開花の季節性との関係 ○丸山 紀子, 河鱒 実之, 深野 祐也 (東大院農)		53	ディッシュバック法による精油から放出される揮発性物質が植物生育に及ぼす影響の検定 ○鈴木 陽子 ¹ , 本林 隆 ² , 藤井 義晴 ² (1アロマティックルポ株式会社, 2東京農工大学)	
10:20	24*	ヒメタカサゴユリ (<i>Lilium formosanum</i> var. <i>pricei</i>) の雑草性の評価および園芸的利用の可能性 ○瀬岡 咲葉, 稲垣 栄洋 (静岡大・農)	早川宗志 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)	54*	ヒノキの葉に含まれるアレロパシー候補物質の単離及び同定 ○毛利 薫平 ¹ , 岩崎 有紘 ² , 末永 聖武 ² , 加藤 尚 ¹ (1香川大・院農学, 2慶応義塾大・理工)	藤井義晴 (東京農工大)
10:35	25*	都市緑地における生物多様性保全に配慮した外来雑草管理の実践 ○神宮 翔真 (農研機構・植物防疫研究部門)		55*	Evaluation of allelopathic potential and identification of potent allelopathic substances from <i>Senna garrettiana</i> leaves ORAMIDA KRUMSRI ¹ , Arihiro, Iwasaki ² , Kyotake Suenaga ² , Hisashi Kato-Noguchi ¹ (1Department of Applied Biological Science, Faculty of Agriculture, Kagawa University, 2Department of Chemistry, Faculty of Science and Technology, Keio University)	
10:50	26*	長野県における雑草イネ発生水田の調査法による効率性 ○小浜 由彦 ¹ , 青木 政晴 ² , 渡邊 修 ³ , 篠原 理沙 ¹ , 小山 敬伸 ⁴ , 中山 佳孝 ⁴ , 今井 由春 ⁴ , 森角 岳紀 ⁴ (1長野県佐久農業農村支援センター, 2長野県農政部, 3信州大学農学部, 4JA 佐久浅間)		56*	Phytotoxic activity and identification of phytotoxic substances from the <i>Elaeocarpus floribundus</i> Blume Leaves ○Kawsar Hossen ^{1,2,3} , Yuka Asato ⁴ , Toshiaki Teruya ⁵ , Hisashi Kato-Noguchi ^{1,2} (1Department of Applied Biological Science, Faculty of Agriculture, Kagawa University, Japan, 2The United Graduate School of Agricultural Sciences, Ehime University, Japan, 3Department of Agriculture, Faculty of Science, Noakhali Science and Technology University, Bangladesh, 4Graduate School of Engineering and Science, University of the Ryukyus, Japan, 5Faculty of Education, University of the Ryukyus, Japan)	

A 会場		座長	B 会場		座長	
11:10	27	トウモロコシ雑草群集の組成と起源 ○池上 真木彦 (国立環境研究所生物多様性領域)	山田 晋 (東京農大)	57	ROS マーカー測定装置による秋冬雑草の光合成において発生する活性酸素生成抑制系の P700 酸化システムの測定とアレロパシー活性の関係 ○藤井 義晴 ¹ , Mardani Hossein ¹ , 海田 るみ ¹ , 早乙女 孝行 ² , 竹下 勇輝 ² , 杉山 暁史 ³ , 三宅 親弘 ⁴ (1東京農工大・院農, 2分光計器㈱, 3京大・生存圏研, 4神戸大・院農)	森本 正則 (近畿大学)
11:25	28	長野県内のコムギ圃場で確認されたナヨクサフジの生育的特徴 ○宮原 薫 ¹ , 青木 政晴 ² , 酒井 長雄 ¹ (1長野県農業試験場, 2長野県農政部農業技術課)		58	世界のダイスコアコレクションの栽培とアレロパシー活性の測定 ○藤井 義晴 ¹ , Mardani Hossein ¹ , 海田 るみ ¹ , Parisa Taheri ¹ , 本林 隆 ¹ , 青木 裕一 ² , 山崎 真一 ² , 櫻井 望 ³ , 杉山 暁史 ⁴ (1農工大・農学, 2東北大・東北メディカル・メガバンク機構, 3国立遺伝研, 4京大・生存圏研)	
11:40	29	東北地方の樹園地および休耕地における主要雑草に対する除草ロボットの影響 ○好野 奈美子, 金井 源太 (農研機構・東北農業研究センター)		59	アレロパシーの経路に特異的な検定法であるプラントボックス法、サンドイッチ法、ディッシュパック法による探索の総まとめと今後の展望 ○藤井 義晴 (東京農工大・農学)	
11:55	30	学習教材としての雑草栽培キットの評価 * ○稲垣 真衣 ¹ , 藤本 勇二 ² , 伊勢谷 智起 ³ , 伊藤 奈緒 ¹ , 稲垣 栄洋 ¹ (1静岡大学, 2武庫川女子大学, 3聖新陶芸)		閉場		
昼休み 12:10 ~ 13:30						
13:30	ミニセミナー 農業工学会オンラインセミナー		閉場			
休憩 14:30 ~ 14:40						
14:40	ミニシンポジウム 「茨城県の外来水草の防除と対策」 外来植物モニタリング研究会		閉場			
16:10	2日目終了					

日本雑草学会 第 61 回大会 運営委員会

大会運営委員長	小荒井 晃	(農研機構 植物防疫研究部門)
大会 幹事	嶺田 拓也	(農研機構 農村工学研究部門)
運営委員	井原 希	(農研機構 植物防疫研究部門)
	今泉 智通	(農研機構 植物防疫研究部門)
	神宮 翔真	(農研機構 植物防疫研究部門)
	関野 景介	(株式会社 エス・ディー・エス バイオテック)
	高間 梨央	(農研機構 植物防疫研究部門)
	福田 モンラウイー	(農研機構 植物防疫研究部門)
	藤井 清佳	(農研機構 農村工学研究部門)
	松橋 彩衣子	(農研機構 植物防疫研究部門)
大会関係庶務幹事	松尾 光弘	(宮崎大学 農学部)

(五十音順)

協賛 農薬工業会